

高橋 美博 議員

介護保険制度改正への  
市の対応は

**問** 医療・介護・介護予防・生活支援・住まいの5つのサービスを切れ目なく一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築は進んでいるか。

**答** 総合健康センターを拠点に、保健・医療・介護・福祉の各分野が連携を図りながら、必要なサービスを総合的に提供する地域包括ケアシステム構築を進めている。

**問** 制度改正により、予防訪問介護・予防通所介護サービスが、平成29年度から市の介護予防・日常生活支援総合事業へ移行する。新たな担い手の育成は進んでいるか。

**答** 総合事業への移行に向け新たな担い手の育成は徐々に進むものと考えられる。事業の推進には多くの担い手が必要であり引き続き育成に努める。



地域支え合い活動推進セミナー (3月23日)

**問** NPOや住民ボランティアなど新たな担い手による多様なサービスを準備して、万全の体制でスタートしているが、新たに立ち上げるサービスはどのようなものか。

**答** 市内各地域に広がっている居場所や介護予防体操のような、生活支援・介護予防サービスにつながる新たなサービスの掘り起こしに努めていきたい。

廣岡 英一 議員

浅羽海岸の保全と活用策は

**問** 合併時の海浜公園等整備事業は先送りされてきた。静岡モデル防潮堤整備事業を活用基本計画がまとめられた今、これを代替したらどうか。

**答** 議員ご質問のとおり、新市建設計画の海浜公園等整備事業になり得ると考え、地元の皆様とも話し合いを進めたい。

**問** サンドバイパス事業の効果予測が明確でないまま、海岸侵食は進んでいる。市はこの状況をどう考えているか。

**答** サンドバイパスの本格運用により、海岸侵食の有効な対策になると認識している。  
3月9日にはサンドバイパスシステム検証委員会で、システムの最適な運用方法を定めると聞いています。



ヘッドランド (防波堤) から臨む「渚の交流館」

**問** ふれあい福田漁港建設促進協議会で協議された「福田漁港ゾーンング計画」の推進にあたり、磐田市との連携、迂回路の取り組みはどうか。

**答** 昨年6月に設立された「磐田市海辺の交流館運営協議会」への参画、8月の連携協定締結など、賑わいの創出に向け連携している。福田漁港への迂回路は、磐田市から示された計画の具体化に向け、必要な調査を行っていききたい。